

深山 明 博士 年譜・著作目録

〈年 譜〉

- 1949（昭和24）年2月16日 神戸市にて出生
- 1967（昭和42）年3月 兵庫県立兵庫高等学校卒業
- 1968（昭和43）年4月 関西学院大学商学部入学
- 1972（昭和47）年3月 関西学院大学商学部卒業
- 1972（昭和47）年4月 関西学院大学大学院商学研究科修士課程入学
- 1974（昭和49）年3月 関西学院大学大学院商学研究科修士課程修了
- 1974（昭和49）年3月 商学修士
- 1974（昭和49）年4月 関西学院大学大学院商学研究科博士課程入学
- 1977（昭和52）年3月 関西学院大学大学院商学研究科博士課程修了
- 1977（昭和52）年4月 関西学院大学商学部専任講師
- 1981（昭和56）年4月 関西学院大学商学部助教授
- 1985（昭和60）年4月 関西学院大学学生部委員
- 1986年3月31日まで
- 1987（昭和62）年4月 関西学院大学商学部教授
- 1987（昭和62）年4月 関西学院大学商学部教務副主任
- 1988年3月31日まで
- 1989（平成元）年4月 関西学院大学大学院商学研究科博士課程前期課程講義担当
- 1990（平成2）年3月 商学博士（関西学院大学）
- 1990（平成2）年4月 関西学院大学大学院商学研究科博士課程前期課程指導教授
- 1990（平成2）年4月 ルール大学（Ruhr-Universität Bochum）客員研究員

- 1991年3月まで
1991（平成3）年4月 関西学院大学大学院商学研究科博士課程後期課程講義担当
- 1993（平成5）年4月 関西学院大学大学院商学研究科博士課程後期課程指導教授
- 1993（平成5）年4月 関西学院大学大学院商学研究科教務・学生副委員
- 1994年3月31日まで
1994（平成6）年4月 関西学院大学商学部教務主任
- 1997年3月31日まで
1997（平成9）年4月 ルール大学（Ruhr-Universität Bochum）客員研究員
- 1997年9月まで
1998（平成10）年4月 関西学院大学大学院商学研究科教務・学生委員
- 2000年3月31日まで
2000（平成12）年4月 関西学院大学産業研究所評議員
- 2002年3月まで
2003（平成15）年4月 ルール大学（Ruhr-Universität Bochum）客員研究員
- 2003年9月まで
2004（平成16）年4月 関西学院大学商学部長・大学院商学研究科委員長
- 2006年3月31日まで
2010（平成22）年4月 評価情報分析室副室長
- 2014年3月31日まで
2010（平成22）年4月 大学基準協会大学評価委員商学系第4専門分科会主査
- 2014（平成26）年4月 ハインリッヒ・ハイネ大学（Heinrich-Heine Universität Düsseldorf）客員教授
- 2014年9月まで

[所属学会]

日本経営学会	(1974年 9 月～現在)
経営学史学会	(1992年 4 月～現在)
工業経営研究学会	(1989年10月～現在)
日本会計研究学会	(1977年 5 月～現在)
日本会計史学会	(1982年 6 月～現在)
労務理論学会	(1993年10月～現在)
日本労務学会	(1977年 5 月～現在)
アジア経営学会	(1993年10月～現在)

[所属学会での役職]

日本経営学会関西部会幹事
日本経営学会幹事
日本経営学会理事
日本経営学会常任理事 (総務担当、西日本代表、関西部会代表)

〈著 作 目 録〉

——著 書——

『西ドイツ固定費理論』	単著	森山書店	1987年 5 月15日
『西ドイツ経営補償計画論』	単著	森山書店	1995年 6 月15日
『ドイツ固定費理論』	単著	森山書店	2001年10月15日
『企業危機とマネジメント』	単著	森山書店	2010年 7 月 6 日

——編 著 書——

『ドイツ経営学の基調』	編著（海道ノブチカ氏と共編著）	中央経済社	1994年 6 月16日
『欧州の統合強化と企業の戦略・計画・行動』	編著 国際学術研究成果報告書		1997年 4 月 1 日
『日本とドイツの経営』	編著（大橋昭一・海道ノブチカ氏と共編著）	税務経理協会	1999年 8 月 1 日
『経営学の歴史』	編著（海道ノブチカ氏と共編著）	中央経済社	2000年 4 月 5 日
『経営学の基礎』	編著（海道ノブチカ氏と共編著）	同文館出版	2003年 1 月24日
『E U の経済と企業』	編著	御茶の水書房	2004年 7 月15日
『経営学の基礎（改訂版）』	編著（海道ノブチカ氏と共編著）	同文館出版	2006年12月 1 日
『基本経営学』	編著（海道ノブチカ氏と共編著）	同文館出版	2010年 2 月 1 日
『最新・基本経営学用語辞典』	編著（海道ノブチカ、廣瀬幹好氏と共編著）	同文館出版	2010年 3 月25日
『基本経営学（改訂版）』	編著（海道ノブチカ氏と共編著）	同文館出版	2015年 3 月20日
『最新・基本経営学用語辞典（改訂版）』	編著（海道ノブチカ、廣瀬幹好氏と共編著）	同文館出版	2015年 3 月31日

——翻訳および監訳——

『原価と原価理論』	翻訳（平林喜博氏と共訳）	新東洋出版社	1981年 8 月15日
『シュテフェン生産と原価の理論』	翻訳（平林喜博氏と共訳）	中央経済社	1995年 9 月30日
『企業者職能論』	翻訳	森山書店	2008年 1 月19日
『ヴェーバー経営経済学入門』	監訳、翻訳（海道ノブチカ氏と共監訳、共訳）	中央経済社	1996年 2 月10日
『経営学の基本問題』	監訳（関野 賢、小澤優子訳）	中央経済社	2011年10月20日

——分担執筆等——

吉田和夫・大橋昭一編著『ドイツ経営学総論』 「経営生産」	中央経済社	1982年 5 月
増谷裕久編『阪神間産業構造の研究』 「尼崎鉄鋼業と経営休止」	法律文化社	1987年 3 月
吉田和夫・大橋昭一編著『基本経営学総論』 「経営生産」	中央経済社	1988年 3 月
吉田和夫編『企業と規制』 「経営休止と経済的不利益の補償」	法律文化社	1989年 3 月
大橋昭一『現代のドイツ経営学』 「経営休止と共同決定」	税務経理協会	1991年 5 月
吉田和夫・海道ノブチカ編著『ドイツ経営学の進展』 「ドイツ企業における補償計画の実態」	千倉書房	1992年 3 月
吉田和夫・大橋昭一編著『基本経営学用語辞典』 「生産理論、生産関数ほか45項目」	同文館出版	1994年 3 月
海道ノブチカ・深山 明編著『ドイツ経営学の基調』 「ドイツ企業と経営休止の理論」	中央経済社	1994年 6 月
吉田和夫・大橋昭一編著『現代基本経営学総論』 「経営生産」	中央経済社	1995年 5 月
深山 明編著『欧州の統合強化と企業の戦略・計画・行動』 「危機マネジメント論のさきがけ」		1997年 4 月
小西唯雄編著『産業と企業の経済学』 「固定費集約性をめぐる問題」	御茶の水書房	1998年 6 月

大橋昭一・深山 明・海道ノブチカ編著『日本とドイツの経営』 「ドイツ企業における固定費問題」	税務経理協会	1999年 8 月
大橋昭一・深山 明・海道ノブチカ編著『日本とドイツの経営』 「グローバル化とドイツ企業の戦略（翻訳）」	税務経理協会	1999年 8 月
神戸大学大学院経営学研究室編『経営学大事典』第2版 「生産・原価理論ほか4項目」	中央経済社	1999年 9 月
深山 明・海道ノブチカ編著『経営学の歴史』 「生産・原価理論の歴史」	中央経済社	2001年 4 月
濱本泰編『現代経営学の基本問題』 「生産管理と効率性の追求」	ミネルヴァ書房	2002年 5 月
経営学史学会編『経営学史事典』 「池内信行ほか2項目」	文眞堂	2002年 6 月
深山 明・海道ノブチカ編著『経営学の基礎』 「企業目標論」	同文館出版	2003年 1 月
深山 明・海道ノブチカ編著『経営学の基礎』 「経営生産論」	同文館出版	2003年 1 月
吉田和夫・大橋昭一編著『基本経営学用語辞典』(三訂版) 「生産理論、生産関数ほか45項目」	同文館出版	2003年 9 月
深山 明編著『E Uの経済と企業』 「経営組織法と補償計画」	御茶の水書房	2004年 7 月
片岡信之、齊藤毅憲、佐々木恒男、高橋由明、渡辺峻編著『ベーシック経営学辞典』 「原価ほか21項目」	中央経済社	2004年 8 月
海道ノブチカ編著『E U拡大で変わる市場と企業』 「E Uにおける企業危機と戦略的危機マネジメント」	日本評論社	2007年 3 月
海道ノブチカ編著『E U拡大で変わる市場と企業』 「E U拡大・グローバル化と中小企業のナレッジ・マネジメント（翻訳）」	日本評論社	2007年 3 月
吉田和夫・大橋昭一監修、深山 明・海道ノブチカ・廣瀬幹好編『最新・基本経営学用語辞典』 「生産理論、原価理論ほか45項目」	同文館出版	2010年 3 月
経営学史学会編『経営学史事典』 「池内信行ほか4項目」	文眞堂	2012年 5 月
海道ノブチカ編著『ゲーテンベルク』 「ゲーテンベルクの生産論」	文眞堂	2013年 6 月

Monden, Y. (ed.): Management of Enterprise Crisis in Japan, 「Basic Theory of Management for the Business Crisis」	World Scientific Publishing Co. Pte. Ltd., 2013.	2013年 1 月
深山明・海道ノブチカ編著『基本経営学』 「企業目標論」	同文館出版	2015年 3 月
深山明・海道ノブチカ編著『基本経営学』 「経営生産」	同文館出版	2015年 3 月
吉田和夫・大橋昭一監修、深山 明・海道ノブチカ・廣瀬幹好偏『最新・基本経営学用語辞典』 「生産理論、原価理論ほか45項目」	同文館出版	2015年 3 月

— 論 文 等 —

「キュルピックの固定費理論」	『関西学院商学研究』第3号	1975年 3 月
「固定費除去理論の性格」	『商学論究』第23巻第1・2号	1975年12月
「クルツ固定費理論ノート」	『関西学院商学研究』第4号	1976年 3 月
「目的論的固定費論の検討」	『商学論究』第24巻第1号	1976年11月
「固定費の変動費化をめぐる問題」	『関西学院商学研究』第5号	1977年 6 月
「固定費問題と経営休止」	『商学論究』第25巻第4号	1978年 3 月
「ケルンの能力理論」	『商学論究』第26巻第3号	1979年 3 月
「総休止費の把握と休止決定」	『商学論究』第27巻第1～4号	1980年 1 月
「ルートハルト休止計画論の基礎」	『商学論究』第28巻第3号	1981年 1 月
「戦後西ドイツの固定費理論」	『経営学論集』第51集	1981年 9 月
「休止目標と休止代替案」	『商学論究』第29巻第2～4号	1982年 2 月
「休止成果の算定と休止代替案」	『商学論究』第30巻第3号	1983年 1 月
「固定費と企業政策」	『商学論究』第32巻第3号	1985年 1 月

「固定費問題と能力理論」	『商学論究』第33巻第3号	1986年1月
「経営休止と経営休止・売却」	『商学論究』第36巻第4号	1989年3月
「経営休止と就業促進法」	『商学論究』第37巻第1～4号	1989年10月
「経営休止と補償計画」	『経営学論集』第60集	1990年9月
「経営休止と補償計画法」	『商学論究』第38巻第3号	1990年12月
「補償計画と仲裁委員会手続」	『商学論究』第40巻第4号	1993年3月
「補償計画の生成」	『商学論究』第41巻第4号	1994年3月
「ドイツの企業経営（口述）」	神戸銀行協会研究会	1994年12月
「補償計画の理論」	『商学論究』第42巻第3号	1995年1月
「企業危機と危機マネジメント」	『商学論究』第43巻第2号	1996年1月
「危機マネジメント論のさきがけ」	『産業経理』第57巻第4号	1998年1月
「経営休止論のさきがけ」	『商学論究』第47巻第1号	1999年7月
「企業危機と企業生産縮小論」	『経営学論集』第70集	2000年9月
「固定費と操業リスク」	『同志社商学』第51巻第3号	2001年3月
「価格下限論の生成」	『商学論究』第49巻第1号	2001年6月
「山崎敏夫『ナチス期ドイツ合理化運動論の展開』」	『立命館経営学』第41巻第1号	2002年5月
「体系的危機マネジメント論のさきがけ」	『商学論究』第50巻第1・2号	2002年12月
「経営組織法の改正と補償計画」	『商学論究』第51巻第4号	2004年3月
「比例費の固定費化をめぐる問題」	『同志社商学』第56巻第1号	2004年5月
「本格的な生産能力理論のさきがけ」	『商学論究』第53巻第4号	2006年3月
「EUのコーポレート・ガバナンス（口述）」	EU ビジネス・セミナー	2006年6月

「企業と共同決定—企業目標、規制、共同決定— (口述)」	香川大学経済学部	2008年11月
「多重危機と3次元危機マネジメント」	『商学論究』第56巻第 4号	2009年3月
「危機マネジメント論形成のための基礎的考察」	『商学論究』第57巻第 3号	2009年12月
「企業危機と管理の失敗」	『商経学叢』第59巻第 1号	2012年7月
「企業危機とコントローリング」	『商学論究』第60巻第 1・2号	2012年12月
「ゲーテンベルク生産論の意義」	『同志社商学』第64巻 第6号	2013年2月
「コントローリングにおける技術論的構想について」	『商学論究』第61巻第 4号	2014年3月
「危機マネジメントとコントローリング」	『商学論究』第62巻第 4号	2015年3月
「工業コンツェルンの変身」	『商学論究』第64巻第 1号	2016年7月